

第30号

# 会報 こほく

滋賀県レイカディア大学同窓会湖北支部 発行責任者 大塚忠夫 編集責任者 中嶋 清

## 秋季支部GG大会

### 健康パークあざいGG場



あいにくの雨天の中、十月十三日に健康パークあざいグラウンドゴルフ場において湖北支部グラウンドゴルフ大会が参加者四十名で開催されました。草野川沿いの手入れの行き届いた芝生のグラウンドゴルフ場で、周囲の山に雨雲が垂れ下がる景色の中で始められました。参加者の熱意で徐々に小降りになり、終了する頃には雨が上がりました。ホールインワンに歓喜の声がグラウンドに響き渡り、顔をほころばせて楽しくプレーをして和気あいあいの内に終了しました。会員のご協力ありがとうございました。

#### 成績優秀者

優勝	遠藤 満代	59
準優勝	田中 直夫	60
三位	松岡 純次	62
四位	鐘居 忠男	63
五位	岩崎 文松	64



## 四支部グラウンドゴルフ大会

#### 成績優秀者

男子	優勝	今宿 猛	○
	準優勝	竹林 春雄	(湖北)
	三位	井川 憲	○
	四位	野中 紘	○
	五位	大塚 忠夫	(湖北)
女子	優勝	林 啓子	(八幡)
	準優勝	寺田美也子	○
	三位	山崎 美里	(湖北)
	四位	田井中幸子	○
	五位	石原 芳	(湖北)

#### 新入会員歓迎会

四支部グラウンドゴルフ大会は十月十九日に東近江のやわらぎの郷公園グラウンドゴルフ場で開催されました。湖北支部から十三名の方の参加となりました。



朝から小ぬか雨が降る中GG場の隣の屋根付きゲートボール場で行われましたが大変狭いコース取りでした。平坦でしたが、湖北の精鋭も勝手が違うのか力を出し切れず、そんな中男性は武林治夫さんが三位、大塚忠夫さんが五位に、女性は山崎美里さんが三位、石原芳さんが五位になりました。

プレー中は他支部の方とも情報交換をする等和気あいあいで大変楽しくプレーをする事が出来ました。

新入会員17名中、7名の参加者があり同窓会役員と地区幹事を合わせて13名で自己紹介から始まり、湖北支部の組織・役員・今年度の総会資料などを基に大塚支部長から説明がされました。新入会員からも積極的な意見が出され湖北支部の今後の活性化が期待できます。今後の活動に新入会員の積極的な参加をお願いします。

第十回

# 地域活動事例発表会

## 近江八幡ひまわり館

第十回地域活動事例発表会は十一月六日に近江八幡の「ひまわり館」で開催されました。開催されました。

当日は約百名の参加者が見守る中で各支部の代表が地域活動の事例発表をされました。

来賓の近江八幡市の富谷市長様から「シルバー世代の皆さん方が地域活動のリーダーとして活躍しておられる事に深甚なる敬意を払うと共に今後も地域活動に貢献して頂く事を大いに期待しています」との言葉がありました。



各支部の発表テーマは次の通りです。

紙芝居上演によるボランティア活動

自立、奉仕、助け合いで生きがい

生ごみを堆肥に変えごみ削減とエコ菜園を楽しむ

よし笛にてボランティア活動(湖北支部代表)

マジックサークル出前活動

健康 B A N D 体操と子育て支援

特養施設内の用具保守整備

桜守活動十年の取り組み

「草津塾」の取り組み

と、多岐に亘り発表がなされました。

湖北支部の代表として近藤

かづさん他七名の方が「よし

笛にてボランティア活動」をテ

ーマにされました。



# おんな城主直虎

## 大河ドラマ館と龍潭寺見学

10月30日に日帰り研修バス旅行で「おんな城主直虎大河記念館と龍潭寺」へ23名で行きました。心配された台風も過ぎ去り天候に恵まれて楽しい研修旅行でした。

### 良い思い出になった

### 研修旅行

30 期園芸 西田 英一郎

去る 10 月 30 日、「おんな城主直虎大河ドラマ館と龍潭寺」の研修旅行に参加してきました。台風が過ぎ去って、天機も徐々に回復していく中での旅行で幸いでした。まずは井伊家の菩提寺「龍潭寺」を見学いたしました。緑の木々や躑躅、金木犀など数々の花木に囲まれて落ち着いたたずまいの中にあられました。本堂にはお釈迦様が祀られていて、大勢の方が参拝されていきました。また、小堀遠州作、国指定の庭園を鑑賞、小山にいくつもの医師が配置された庭園で、つわぶきの黄色い花がきれいに咲いていました。昼食は「きじ亭」で、きじ鍋をいただきましたながら交流しました。次は「大河ドラマ館」の見学に行きました。直虎シアターや井伊谷の井戸端のセットなど色々工夫されていてわかりやすかったです。

「旅は若返りの泉」とか申すようですが、また機会があれば旅に出かけましょう。世話方の皆さんありがとうございます。

### 研修旅行に参加して

36 期北近江 小寺 君江  
レイ大同窓会湖北支部の、日帰り研修旅行があり、井伊直虎ゆかりの地浜松市へ参加させて頂きました。

旅行の数日前から台風接近で一時心配しておりましたが、当日は風が少し強かったですが、天候に恵まれ汗ばむ程でした。

井伊家の菩提寺龍潭寺の拝観、本堂の参拝、井伊家の籠などの展示、井伊家 40 代の遺灰を祀る御霊屋等案内順路に沿って見学、国指定の小堀遠州作庭園は鑑賞席に座り、しばし案内放送を聞き入り美しい庭園を見入っていました。また他には井伊家の墓所もあり、直虎、直親の墓石も見られ拝観できました。

おんな城主直虎大河ドラマ館見学。ドラマのパネル展示や、ドラマで実際に着用された衣装の展示、また井伊氏発祥の井戸（レプリカ）のお展示もあり、真新しい綺麗な管内で見学できました。

この研修旅行に参加して、会員相互の会話も弾み楽しく交流が保てたと感じています。



# 長浜養護学校で剪定作業

## 初めて湖北支部のボランティア活動

湖北支部では今年度から支部全員が参加できるボランティア活動を始める事になり、長浜社会福祉協議会に相談して、手始めに長浜市と米原市地域の生徒さんが学んでおられる長浜養護学校の敷地内の樹木の剪定ボランティア活動を行うことにしました。

11月28日快晴に恵まれ、会員12名が参加して、学校敷地北側に植栽されているポプラに枝の剪定に汗を流しました。学校からは今後も継続してお願いしたい旨の要請を受けました。



# 花嫁行列と長持ち唄

## 今よみがえる、忘れかけていた記憶

昔の結婚式と言えば、挙式の日には白無垢や、文欽高島田で実家から花婿さんの所へ向かう花嫁さんの行列を目にしました。その行列には花嫁さんと家族、親戚、友人などの一行が、花婿さんの家に向かい、同中では婚礼の調度品などを入れた「長持ち」という長方形の大箱やタンスを親戚が担ぎ、この花嫁行列の途中には、おめでたい内容を詩にした「長持ち唄」が唄われ、賑やかに花嫁さんを送りだしたり、迎え入れたりと、いった風情もあり、日本の伝統を思い起こさせる印象深いものでした。そういった集落での花嫁行列の様子（長持ち唄）を再現し、伝統文化の継承を推し進めることを目的にこの米原発伝統文化の再発見事業「花嫁行列と長持ち唄」が生まれました。この事業の推進にはボランティアが必要で多くのレイカディア大学同窓生が参加されました。

一般公募で選ばれたカップルが、米原市内情緒あふれる街並みを舞台に地域常民の方や多くの観光客・カメラマンに祝福され沿道を練り歩く光

景に年配の方は当時の記憶と照らし合わせて懐かしんでいた。ただ、また若年層の方には、伝統文化の再発見イベントとして事業を楽しむことで、地域に誇りと愛着を育むことを狙いとして、平成19年から29年の10年に亘り開催されました。



# 地域活動のリーダーの研修から実践へ

## (近江冬扇会の活動)

28 期園芸学科 中 嶋 清

近江冬扇会は平成元年に長浜市内出身者で昭和十八年・十九年生まれと同級生が集まり組織した会です。その当時四十代後半の責任世代で県職・市職・教員・銀行員・一般企業人・自営業者・主婦など男女のメンバーでスタートし現在は三十三名の会員です。目的は責任世代として地域で活動する為の研修をすることと異業種交流会として情報交換をする事でした。

毎年四回定例的な研修会を開催し多岐の分野の亘る講師を招き二十七年間継続してきました。継続は力なりメンバーは各方面で地域活動やボランティアに活躍をされています。



今まで研修したことにはその時々話題や制度など多くのテーマがありました。

裁判員制度・マイナンバー制度・東日本大震災と原子力発電の安全性・放射能について・江を中心とした戦国女性の生き方・黒田官兵衛と湖北・国政市政の報告等講師も各分野の方々のお願いしました。

市政 50 周年には旧長浜市内四中学校にそれぞれの学校の教育目標のコメントを制作して各校の前庭に同窓生に募金を呼びかけ設置いたしました。

### 近江冬扇会の名称について

冬扇会の名称は中国の古典にある「夏炉冬扇」からとりました。(夏のいりりと冬のうちわ)とは、時期を失した無用な物事に例えていう、転じて無益な才芸や言説を言う。

日本経済新聞には洋画の大家、中川一政さんは、独特の書でも知られた。とりこになる人も少なくない。作家の向田邦子さんは、悪筆を直すため画伯の書を朝晩にらんだが、「お手本が凄すぎたのか、私の字は益々下手くそになってしまった。ご利益は無かった物の、私にとって中川先生は神様の次に偉い方」とユーモラスに敬愛の情を書いている。

中川さんの書を昨年、何必館・京都現代美術館で見た。節くれだった根のような、稚拙に見えて雄渾な筆跡が異様な迫力だった。

書は「余が風雅は、夏炉冬扇のごとし。衆にさかひて用いる所なし」。芭蕉が、帰郷する門人許六に中国の古典を引いて贈った言葉。

夏にいろり、冬に扇が要らないように、自分の芸術は実用にならない。

だが、その中にも「実」はある。その「細き一筋」を見失うな。これから取りました。

### レイカディア大学で学んだ事を生かす

37 期生として卒業後は、サポート隊で活動させてもらっています。

授業で学んだ徳源院もサポート隊以外としても、湖北地域に住む 37 期生 6 名と剪定や清掃活動のボランティア活動に参加しています。良き仲間と出会い、37 期生での里山活動や年 1 回の旅行などにも参加して楽しんでいきます。

園芸学科なので、育てている花苗を里山に植えたり、花苗を仲間と交換したり充実したものになってきています。

また亡くなられた近藤光博さんの取り組みられた平核無柿を仲間と購入し、干柿やさわ



37 期園芸学科 奥澤 富恵

し柿づくりに挑戦し、以前にもまして多忙な日々ですが喜びの多い充実した日暮らしをしています。

### 訃報

謹んで哀悼の意を表し

心からご冥福を

お祈り申し上げます

6 期園芸学科 北村 春江様  
18 期園芸学科 川邊 美門様

### 訃報の連絡は

大塚まで

### 電話

〇七四九一六二一五四四〇

### 編集後記

昨年から広報部の責任者として会報「こほく」を二年間に亘り担当させていただきました。その間広報部員の皆様方や原稿をお寄せいただきました皆様方には大変お世話になりました。また 前任の広報部責任者の増田様ご夫妻にも大変お世話になりました。

今後とも会報「こほく」が継続して発行されますが会員各位の地域活動に関する寄稿をお寄せいただきます様をお願いし御礼と致します。 中嶋 清 拜